

令和8年度 「志教育」全体計画

様式1

宮城県石巻高等学校

校訓		
真実	自律	友愛

本校の教育目標
1 あらゆる指導を通して、高い英知と豊かな情操と不屈の意志を育成し、高 朗爽快な気風を醸成する。 2 教科指導を徹底し、自主的な学習意欲と考究心とを喚起し、学習の充実を 図る。 3 信頼と友愛による人間関係を確立し、公德心及び自己尊重の精神を涵養す る。

生徒の実態、教師の願い
○生徒の実態 ・高い資質・能力を有し、素直で真面目な生徒が多い。 ・大学などの上級学校への進学を目指し、勉学や部活動等に熱心に励む生徒が多い。 ○教師の願い ・心身ともに健康で、明確な目的意識をもち、その実現に向けて主体的に努力するとともに、社会に貢献できる生徒になってほしい。 ・相互に尊敬し合い、切磋琢磨しながら、高い能力と豊かな人間性を身につけ、目標を達成してほしい。

保護者や地域の願い
○生徒の高い資質と可能性を上げ、進路目標を実現させてほしい。 ○豊かな人間性を養い、社会で活躍できる人材を育成してほしい。

「志教育」の目標
○尊敬と信頼に満ちた人間関係を構築し、高い品格と強い信念を養う。 ○真理探究と自己表現のための自奮自学、至誠勤勉を貫く姿勢を培う。 ○広い視野をもち、健康進取の気性を備え、進んで社会貢献できる人材を育成する。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
様々な人との関わりを通して、多様な価値観や個性を理解させるとともに、自己理解を深め、集団や組織の中でよりよい人間関係を構築する力や社会性を養い、適切なコミュニケーションを図ることができるようにする。	進路に関する様々な学習を通して、興味・関心を高め、自己の適性を正しく理解させるとともに、将来の職業や社会で果たすべき役割について考え、その実現に向けて主体的に取り組む姿勢・態度を育成する。	ホームルーム活動や学校行事等の特別活動において、生徒一人ひとりが集団における自己の役割を理解し、互いのよさを認め合いながら、学校や地域社会の一員としての自覚をもって生活する姿勢・態度を育成する。

各教育活動における取組の観点	
各教科	○知的好奇心を高め、ゆるぎない向上心を培うとともに、主体的に学習に取り組む姿勢・態度を養う。 ○各教科領域における基礎的・基本的な知識の理解にとどまらず、習得した知識・技能等を活用するなどの課題解決力を育成する。
道徳	○文武両道を奨励し、社会を生き抜くたくましい精神力を育成する。 ○高い志を持ち、自らの人生を主体的に切り拓く、たくましい人間を育成する。 ○学校行事等特別活動に積極的に参加し、豊かな人間関係を構築する。 ○生命尊重の精神に基づき、安全で安心な学校づくりと心の教育を推進する。
総合的な探究	○地域社会や学問領域等に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域社会のよさや学問の魅力に気づき、よりよい社会づくりにつながっていることに気付く。 ○地域社会や学問領域等と自己の在り方生き方をつなげ、問いを見だし、その解決に向けて収集した情報を整理・分析する力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身につける。 ○地域社会や学問領域、自己の在り方生き方に関わる探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、その解決に向けて互いのよさを生かしながら、よりよい在り方・生き方を求め社会づくりに貢献しようとする態度を育てる。
特別活動	○集団活動を通して、心身の調和的発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員として自主的・実践的な態度を育てるとともに、社会人としての在り方や生き方について主体的に考える姿勢・態度を養う。
その他	○部活動等の課外活動への積極的な参加を促し、知・徳・体の調和のとれた人格を養う。 ○健やかな心身の成長を図るため、自主的・自律的に健康管理する姿勢・態度を養うとともに、よりよい高校生活を送るために必要な規範的意識の醸成を図る。

各学年の取組内容	
1年	○学習と部活動の両立を図ることができるよう進路ノート等を活用しながら、よりよく高校生活を送るための主体的な姿勢・態度を育てる。 ○「総合的な探究の時間」における課題探究や進路に係る学習を通して、自己の在り方生き方について多面的に考える力を身につけさせる。また、地域社会等の課題を見だし、その解決に向けた学習に取り組むこと、地域貢献や社会参画に向けた意識の高揚を図る。
2年	○中堅学年として、進路ノート等を活用するなどして計画的な高校生活を送るとともに、部活動との両立を一層図ることができるようにする。 ○「総合的な探究の時間」と連携した進路に係る学習を通して、進路目標を明確に定めるとともに、総合的な自己理解を深めた上で将来設計ができるようにする。また、地域社会等の課題を地域と共に解決する実践活動に取り組むことで、探究的な学びを深めるとともに、自己の興味関心に応じた学問領域への理解を深める。
3年	○高校生活の仕上げとして、学ぶことや働くことの意義、将来の社会における自己の役割や複雑化・多様化する社会への理解を深め、よりよい在り方生き方を求める姿勢・態度を育成する。 ○「総合的な探究の時間」と連携した進路に係る学習や、オープンキャンパス等への積極的な参加を通して、卒業後の進路目標をより一層明確にし、その実現に向けて粘り強く取り組む姿勢・態度を育成する。

家庭との連携
PTA活動や保護者面談の機会、「学校評価」等を通して、生徒や保護者のニーズを把握するとともに、各種たよりや、ホームページ等を活用した積極的な情報発信に取り組む、家庭との適切な情報共有を図りながら信頼関係を育む。

地域・企業との協働
「総合的な探究の時間」における課題探究、各教科等における学習活動や生徒会活動、部活動や交通安全運動、ボランティア活動等の校外活動を通して、様々な人達と接する機会を設け、社会人として求められる資質の育成を図る。